

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1678回例会

令和3年8月26日(18:30～19:30)



○ソング

- 四つのテスト

○ビクター

- YEG 会長 菊地一寛様

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（YEG会長の菊地一寛様、コロナ禍の状況の中、例会に来て頂き、卓話ありがとうございます。）
- 須藤正樹幹事（白河商工会議所青年部会長、菊地様おいでくださいましてありがとうございます。今日はワクチン接種2回目ですので気合を入れてスマイルします。）
- 十文字光伸会員（菊地会長、本日は貴重な卓話、大変ありがとうございました。）
- 永山龍大郎会員（ウェディングアニバーサリーのプレゼントありがとうございました。家族でおいしくいただきました。）
- 運天直人会員（YEG会長、菊地様本日は卓話ありがとうございました。お兄様が入会しているので会長の入会は難しいと思いますが是非YEGの若手をご紹介頂けるとありがたいです。昨日のコンペでバーディーを取りましたので合わせてスマイルします。）
- 金田昇会員（YEG菊地会長ようこそ。卓話ありがとうございました。来週から県南分区の公式訪問が始まります。ご協力よろしくお願いいたします。）
- 堀田一彦会員（YEG菊地会長ようこそ！卓話ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（YEG会長、菊地一寛様ようこそ。卓話ありがとうございました。）
- 高島裕会員（YEG菊地会長、素敵な卓話ありがとうございました。コロナ禍ではありますが、若者として工夫をしながら地域を盛り上げて下さい。）
- 青木大会員（菊地YEG会長、卓話ありがとうございました。コロナ禍で大変だと思いますが、白河の為に活動ガンバって下さい。）

▶第1678回例会出席状況 (R3年8月26日)

① 出席免除を受けていない正会員数	50名
② 出席免除の適用正会員数	14名
③ 全正会員数	64名
④ ①の出席者数	27名
⑤ ①のメイクアップ者数	0名
⑥ ②の出席者数	12名
⑦ = ④ + ⑤ + ⑥ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
⑧ = ③ - (② - ⑥)	62
⑨ = ⑦ / ⑧ × 100 (例会出席率)	62.9%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



鈴木孝幸会長

皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、例会にご出席いただきまして本当にありがとうございます。パラリンピック金メダリスト代表の鈴木孝幸は私じゃありませんが、本当におめでとうございます。鈴木孝幸さんに負けないように、私もロータリークラブの会長の自由形で金メダルを目指したいなんて思った今日でございます。そして、本日のお客様でございます。卓話のために来ていただきました、白河商工会議所青年部会長の菊地一寛様でございます。菊地会長は「株式会社共和建商」さんの専務さんでおられます。そして、我々西ロータリークラブの会員の、今日コロナの予防接種で休んでおりますが「共和建商」社長の増子国安会員の義理の弟さんになります。本当に血は繋がってないんですよ。私、何度も聞いてしまいましたが、本当にこれだけ血が繋がってなくてもそっくりな義理の兄弟さんはおられないと感心しております。菊地会長さんにはこの後、そこら辺も含めてしっかり卓話の中でいろいろ紐解いたお話をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。それと、先日会員の皆さんにご連絡させていただきましたホームミーティングの延期の件でございます。前回の例会後に開催されました理事会にて、先程前原さんから義理堅い言葉をいただきましたので、前原会員からの意見を鑑みて慎重に理事会で検討させていただきました。いろいろ意見がありまして、例えば昼にもっと少人数で飲食を伴わない形で開催してはとかですね。あとは、例会場でグループ分けをして一斉にミーティングを開催してはなどの意見もいただいたんですけども、やはり世間のロータリークラブの風評なども考慮すれば、今のこのコロナ状況の中で開催方法がどのような状況であっても無理に開催すべきではないと結論に達しまして、せめて蔓延防止が解除されるまでは延期という形で皆様にご連絡させていただいたところでございます。こういった状況判断は、人によって考え方や敷居の高さが違うので、今後のクラブ活動の在り方についてご心配される方おられると思います。事前にわたくし会長や幹事や理事の方、ないしは監事の方にご相談いただければ、理事会にて対応を検討したいと思いますので、皆様よろしくお願いしたいと思います。ついでにと言っては何ですけど、この例会の開催での感染防止の考え方についてちょっと述べさせていただきます。例会は基本、壇上に立つ人しか喋りません。そして、会場内の向かい合う会員の方々の間にはアクリル板を設置して飛沫を防止しております。さらに、左右座席は距離を取ってソーシャルディスタンスを徹底しておりますので、さらに会員の方々もマスクを着用して食事は黙食。そして、基本今現在の例会の在り方は感染に対する安全が保たれていると考えているところであります。また、来週に控えますガバナー公式訪問は、まだ最終決定ではありませんけれども、わたくしとしてはこのような例会のような感染防止対策を徹底した上で、例年通りの開催をできればいいと考えております。この後、金田ガバナー補佐から公式訪問についての詳しい説明がおりかと思いますが、逼迫したコロナ状況のいわきから志賀ガバナーが来られるというのは、皆さんもちょっと心配されていることだと思います。ですが、そんな気

持ちを察してか志賀ガバナーは白河入りする前日にPCR検査を実施して、身の潔白を証明した上で白河に来てガバナー公式訪問を達成させたいという申し出があったようでありますし、その気持ちを受けまして我々としても万全の感染対策をとってお迎えしたいと私的には思っております。是非、会員の皆様のご理解とご協力の程をよろしくお願いしたいと思っております。今日は、菊地会長にしっかりと話を伺いたいということで、ここらへんで私の会長の時間を終わりたいと思います。菊地会長、今日はよろしくお願いします。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 社会法人福祉会優樹福祉会 オープンハウス白河 管理者 深谷亘弘：広報誌「オープンハウスだよりNo.28夏号」送付のご案内
- 東白川ロータリークラブ 会長 小野武徳：2021-2022年度年次計画書・報告書の送付について
- 白河ロータリークラブ 会長 近藤幸二郎、幹事 相笠恵一：2021-2022年度年次計画書・報告書の送付について
- ガバナー補佐 金田昇：ガバナー公式訪問について
- ガバナー 志賀利彦、青少年奉仕委員会委員長 大木和彦、青少年交換委員会委員長 原田康博：2022-23年度青少年交換学生（派遣）の募集について
- 公財）米山梅吉記念館 理事長 積惟貞：賛助金ご入金のお願い
- 東京優劣園株式会社：〈広告入り種子〉のご提案
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 芳賀利彦、RLI委員会委員長 佐藤榮朗：ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）第4期パートⅠ開催のご案内
- ガバナー事務所 芳賀美宝子：ロータリー100年史購読お願い
- ガバナー事務所 芳賀美宝子：補助金の最新状況について
- いわき分区ガバナー補佐 阿部弘行：ロータリー奉仕デー延期のお知らせ
- 白河ユネスコ協会事務局：令和3年度福島県ユネスコ活動研修会の中止について
- 2021-22年度ガバナー事務所事務局岡山直緒美：公共イメージ・IT委員会セミナー次第について

■委員会報告

○金田昇県南分区ガバナー補佐



皆さん、こんばんは。ガバナー補佐の金田です。先程、会長のほうからお話ありましたガバナー公式訪問がいよいよ来週から県南分区で始まります。それについてちょっとご説明です。各分区いろんなクラブにおいて、今のこのコロナ禍においての開催実施はいかなものかというふうな問題提起をされてるところも沢山あります。そんな中で、ガバナーの地区事務所のほうも非常に頭を痛めまして、年間行事等をスケジュール通りこなしてかないとなかなか難しいので、スケジュール通りやっていただきたいというふうなお申し出がありました。それを受けまして、県南分区でどんなふうな対応ができるのかということで、地区事務所とお話ししましたところ幾つかの案をいただきまして、その中から公式訪問自体を時間を短縮し人数を制限して行っただけというふうなご提案をいただきまして、各クラブにご提案をさせていただきました。県

南分区の8クラブの状況でほぼ決まったんですけれども、フルスペック今までどおりしっかり感染対策をしながらやっていこうというふうなクラブが、白河ロータリークラブ、白河西ロータリークラブ、東白川ロータリークラブ、この3つはフルスペックでやってきますというお話をいただいております。時間短縮とちょっと変形なんですけれども、人数制限でやりたいというところが、矢吹ロータリークラブ、石川ロータリークラブ、白河南ロータリークラブ。それと、開催自体をいかなものかということで、スケジュールの変更できないかということで今調整してるところが、須賀川クラブとぼたんクラブの2つであります。概ね、開催に向けてはしっかりやりますということなんですけども、先程鈴木会長のほうからお話あったとおり、地区のガバナーも含めて全員ワクチン接種終わってる方のみいらっしゃるという事と同時に、要望があればPCR検査を受けてその証明も持参しますということです、いわきから人が来るということに対してご不安があればそれは払拭しますというふうなお話でした。いずれにせよ、フルスペックでやるとは言っても今までどおりワイワイガヤガヤというわけにはいきませんので、感染対策をしながら内容を詰めてなるべく短時間にソーシャルディスタンスを取れるように、分区としましてもしっかり行っていきたいと思ひます。また、ガバナー補佐としまして各クラブに参加してくるわけなんですけども、そこにおいても、諸橋幹事、永野副幹事、藤田副幹事、3名と私とでよく相談しながら参加して、また白河西ロータリークラブの名に恥じないような運営の方法をしていきたいと思ひております。いずれにせよ、ガバナーも非常に楽しみにしておりますし、地区の行事の一番大きな行事が公式訪問です。これが終われば、あと地区大会を控えて半分以上の事が終わるということです、なるべく快く楽しく終わらせていただきたいというふうに思ひています。それと同時に、先程の前原さんからのご意見、非常に西ロータリークラブらしいなというふうに思ひます。非常に民主的であり、意見を出してそれに対して皆が協議をすることによって、不安とかいろんな問題点を払拭しながら、また協議して決定したことに対しては皆で協力してやっていこうという、この西ロータリークラブの良さを非常に素晴らしいなと思ひますので、それを他のクラブにも伝達していくのが私の役目だと思ひますので、公式訪問を通じて白河西ロータリークラブの良いところを皆さんにご報告していきたいというふうに思ひております。いずれにせよ、来週から始まりますので皆様のご協力、よろしくお願ひいたします。

○青少年奉仕委員会

藤田龍文委員長



皆さん、こんばんは。先日、青少年奉仕委員会のほうの担当行事としましてGKBのご案内を青木先生をお迎えしてさせていただいたり、メール、ファックス等で今週週末のご案内をしておりました。本日、ちょうどこの例会が始まるほんの前に、とても残念な連絡が来まして、ちゃんとルールに従ってやりますと。蔓防でも教育委員会とも話して、外での野球は大丈夫ですということ。ただ、ルールはちゃんと決めてますということでお話をしたと思うんですが、そのルールに引っかかってしまいまして、残念なことに参加する中学校のお子さんがお一方だと思ひんですが本日感染してしまったというこ

とです、ルールがルールです、大変残念ではありますが延期という形で、今週末のGKBのほうは延期させていただくことになりましたので、後程また会員の皆さんにはメール、ファックス等でも改めて連絡をいたしますが、こういうご時世ですので延期という判断になりましたので、会員の皆様にお知らせさせていただきます。

○プログラム委員会

中目公英委員長



皆さん、こんばんは。YEGの菊地会長、この後の卓話ひとつよろしくお願ひいたします。先週の理事会決定を受けまして、プログラム委員長のわたくしのほうに9月のプログラムを何とかしろというご下命が下りました。もう既に、プログラムの月の案内は印刷して皆様にお配りしている、さらに改めて印刷はいたしません。口頭でこの場で発表させていただきます。9月16日の例会は、歴史文化研究愛好会の関谷会長のお骨折りを受けまして、今発表していただきました藤田さんの所でやっている、藤田記念会館の学芸員である佐川庄司さんのほうから卓話をいただきます。去年の段階では、結城素明の話をしていただく予定だったんですけど、これから間もなく谷文晁展を藤田記念館さんでおやりになりますので、おそらく谷文晁のお話を聞けるのではないかと思います。大変興味深い卓話ですので、是非9月16日ご参加ください。それから、9月30日の最終例会は、この急なプログラム変更に対しまして、我がクラブの最長老である佐藤清作先生のほうに何とかお願ひできないでしょうかというふうなお話を申し上げたところ、初代から10代会長までで現在正会員は佐藤清作先生だけでございますから、チャーターメンバーではあり、会長を経験してから一番長い清作先生のほうから現状について、西クラブについて思う事。あるいは、いろいろな事について卓話をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。毎週毎週の出欠の案内で、プログラムの内容はそれぞれ皆さん方にご案内いたしますから、そちらのほうでは案内させていただきますが、改めて月ごとのプログラムの印刷はありませんので、こちらの口頭でのご紹介として例会の変更をご案内いたします。また、ホームミーティングは延期でやるというふうになった場合には報告会がありますので、10月以降もプログラムの内容が随時変わってしまうかもしれません。卓話をお願いしますというふうなお声がけがいった場合には、皆さん是非快くお引き受けをいただきますようお願いいたします、プログラム委員長からの挨拶にさせていただきます。今日は、よろしくお願ひします。

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○白河商工会議所青年部

会長 菊地一寛様



改めまして、皆さんこんばんは。本日は、白河西ロータリークラブさんの例会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より白河商工会議所青年部の活動におきまして、ご協力いただけてることも重ねて御礼申し上げます。まず、卓話させていただくということではありましたが、非常に緊張しております。普段、こういった場でお話する機会というような事もともと苦手でもありますし、またここにいる先

輩方が非常に影響力のある先輩方の前で話をさせていただくのが、非常に辛いというか、またハードルを上げていただいた点が更に怖い点でありまして、皆様初めて私こういってところで卓話をさせていただきますので、いろいろとつたない点あるかと思いますが、程よく攻めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。では、まず初めに会長からご紹介がありましたように、私のほうの社長がこちらの会に入会させていただいて、いろいろと活動を一緒にされていると聞きました。昔から、私と社長は本当に間違えられます。一番ひどかった思い出をちょっとだけお話させていただきますと、社長がその前日、私がお客さんに会ったんですけども、社長が何かを御馳走したと。次の日、私そのお客さん初めて会いました。名刺を渡そうとしたところで「昨日は御馳走様でした。」昨日の人も間違えちゃうくらい似てるのかなという。よく言われるのは、この姿、格好と色が、肌の色ですね。この辺が似てるなんてよく言われますが、今日は皆様すいません。私は菊地です。よろしくお願いします。遠い方、ちょっと見づらいかと思うんですけども、私がデジタル的な事ができなくて、今日先輩である看板屋さんにこういったものを作っていただきました。ちょっと見えない点は申し訳ありませんが、お話の中でさせていただきますのでご了承ください。今年度は令和3年度、白河商工会議所青年部会長を授かっております菊地一寛と申します。私は青年部の中では、第25代会長となっております、こちらの中にも会長を務めた先輩等もいますが、25番目になるほど続いてまいりました。本年度のテーマを申し上げさせていただきますと、「未来共創 夢を育み、己を創り地域を作れ」ということで、今年はコロナ禍というような事がもう前もってわかっておりましたので、その中で何ができるか。この白河地域のどんな夢を与えられるかというような事を考えるのにちょうどいい一年なのかなということで、この後ちょっと申し上げさせていただきますが。そういったことで、今年度は新たな取り組みというような事を設けさせてスタートしております。まず最初に、私のことをちょっと知っていただければと思います。改めまして、名前は菊地一寛と申します。昭和54年5月14日、現在42歳になりました。出身は西郷村のほうで育ちまして、西郷二中。その後、白河高校。その後、国際医療福祉大学と大田原にある所のほうに通いながら勉強してまいりました。家族構成としましては、同級生の妻、長女15歳、長男11歳というような4人家族で日々過ごしております。勤務先は、先程も申し上げていただいたように「株式会社共和建商」というようなことになっております。また、ちょっと雑談ですが趣味としてはゴルフをやっていたり、テニスをやっていたりというような経歴もあります。私が青年部に入会したのが、平成18年1月11日というようなことで、現在活動して15年というような形になりました。15年経ったところで、こういう立場のほうのをを務めさせていただけるようになったところがございます。ここから団体の紹介のほうをさせていただきます。まず、白河商工会議所青年部とはどういったものかと申しますと、白河商工会議所というのが親会にありまして、そちらのほうに加入をしている中で20歳から45歳というような形で構成されております。活動目的が、会員相互の親睦と啓発を図り、かつ若い経営者の立場から商工業の改善、発達に寄与するというような目的が本来の目的になっております。最近、イベントごとなどで町のほうを賑わすというような事が多くなってきた事業がありますけれども、

本来はやはり自分たちが成長するということなことを目的としております。設立が、昭和57年8月26日。この白河商工会議所青年部は、本日は誕生日となっております。またこれも、ちょうど良い機会にこういった卓話をさせていただいたのかなというような、本当に偶然に喜ばしい日でありました。39期目ですね。来年は40周年というような、今期は40期目。で、来年が40周年ということになります。初代会長は鈴木道明様にやっていただきまして、現在の会員数は徐々に増えて、また減ってというところですけども現在は77名で、昨日入会したいという若い女性の方がいましたので、今後活躍していただくと78名というようなこととなります。また、白河商工会議所青年部にはY E G友好の青年部団体がありまして、そちらが神奈川県連茅ヶ崎商工会所青年部と、震災の時などであちらから救援物資等をいただいたりしたところからの付き合いが深くなりまして、平成24年3月16日に締結ということで、友好を結ばせていただきました。それ以降、我々としてはあちらの湘南の海のほうで事業に混ぜていただくというようなことがあったり、あちらから来ていただいて白河の花火と一緒にやっていますイベント行事のほうに参加をしていただいて出店などもしていただいております。これが今、ずっと続いておりまして、ただ今回は残念ながらこういうような状況なので、我々があちらに行くという事業もなくなってしまったり、あちらから来ていただくこともなかなか出来ない状況であります。今までの主な活動。先輩方、ちょっと失礼なところもあるかと思いますが、私が知ってる中だけに申し訳ありません。主な活動としましては、11～12年前のダルライザーが誕生したのがその時のことであります。あともう一つ、大きな事業としては現在で13回目、震災以降から行っております白河会議というようなものがございます。これは後程、ご説明させていただきます。また、風物となりました先程から申します夏のイベントで「白河魂」というものも、こちら10年以上の継続事業となっております。最後に、イルミネーション事業としましてベットボトルツリー。こちら白河駅前のイベント広場におきまして、我々が小学生、中学生、高校生、学生さんたちに向けてベットボトルのツリーを作っていただきまして、そちらを飾らせていただいているというようなものが5年くらい継続しております。この事業が先日、学校から連絡がありまして、非常に喜ばしい事だったことを皆様に聞いていただければと思ってまいりました。白河第二小学校の3年生の先生が、白河の名物といったら何というような問題が出されました。やはり、当然子たちは南湖公園、小峰城、白河の関、そういった事がほとんどだったようなんですけども、女の子の一人がこのベットボトルツリーと言ってくれる子がいたことに対して、非常にそういった事業をやってきたことが報われたというか、感動する点というか、やってきたことに対して喜ばしい事だというふうに思えたのがございましたので、今後共こちらのほういろいろと今苦戦しておることもあります。試行錯誤しながら街の賑わいを創出していきたいと思っております。これから、今年度の事業のほうを行ってきたものをご紹介します。もともと私と会の中で皆様と決めたことが、



皆さんと一つ決めて会の運営を考えてはきました。それは、このコロナ禍でどういうふうに行っていくかというようなことがあります。それに対しては、本当に徹底した事、徹底した消毒ですとか、マスク、手洗い、対応等をはかるというようなこともやってまいりましたが、基準を設ける上では福島県のステージというようなことを一つ基準として、今のところ進んでおります。基準が4に達成した場合は事業は取り敢えずは全面中止、または完全ウェブというような形でやろうというようなことでやってまいりました。今のところ、我々が行う時にはちょうどそのステージ4に結びつくことはありませんでしたが、ステージ3ですと事業はやれる方法を考えながら、懇親会等は全部中止だというようなことも決めておりますので、残念ながらそういった懇親会、打ち上げ等がなかった事業は幾つかありました。この通常総会、これが青年部にとっての大きな事業の一つ、青年部内ですね。私もここで会長の表明をさせていただいたというような場があります。こちらのほうも、なかなかその時期は難しかったのでありますが、できる限りの対策をとって懇親会にはお客様、来賓の方等は呼べないというようなことでは行ってまいりました。総務委員会というようなものの活動の流れは、組織全体の運営、及びPRをすることを目的とした事業展開をするというようなことになっております。例年、かしこまった事業を行うのがこの総務委員会というようなことでありまして、今年度は5つの事業、5つの組織委員会というようなものを設けました。そのうちの一つではありますが、この総務委員会は歴代から数えてもずっとある大切な委員会の一つになっております。続きまして、もう一つがそちらに座っていらっしゃる高畠さんに来ていただきました資質向上委員会が行いました、会員の自己研鑽及び自社企業の発展を目的とし、さらには会員の拡大、親睦、交流事業を展開するというような事業の一つで、「Y E Gイズム」というようなタイトルでやらせていただきました。こちらの目的は、活動に対すやる気、熱意の向上を皆さんで共有しようというようなことを目的としておりまして、それには誰が講師が一番最適かというようなものを会議の中でもんだところ、高畠さんしかいないだろうというようなところで一択で決定していただき、1時間半かけて講演のほうをしていただきました。本当に、その節はありがとうございました。この講演以降、新人も熱意をもって会の活動のほうに多く取り組んでいただいた結果、この後にご説明させていただきます8月事業のイベントなんかを一致団結でまとめることができましたこと、本当に高畠さんにお礼申し上げます。3つ目の委員会としまして、政策提言企画室というようなものを、これは今年度初めて設けることといたしました。最初に申し上げさせていただきました、今年度のコロナ禍の中で通常の事業ができないというような時にどんな事ができるかなというのと、これからの白河市への夢を与えられるような事業に取り組むのには、どういった形でやったらいいのかというような時に、この政策提言というものも商工会議所青年部の一つの役割として、団体の活動をするべきだというようなことになっております。なので、まだ詳しい事もわからないままではありますが、とりあえず委員会というより企画室というようなことで進めさせていただき、これから徐々に白河市へ、今後のには3月には一つくらい政策提言をしっかりとしたものを出していただければという思いでやっております。こちらは、郷土の発展のためにあらゆる視点から調査、研究を実施し、白河市と共に郷土作りを

するというような目的をもってやっております。この中の写真に出ておりますのが、「白河会議」というようなもの。先程、申し上げました今回で13回目となっております。震災以降の中で、一年に二回とか三回やったこともありまして、そういった意味で13回目になるのですが、今までもいろいろな意見が出てきました。こちらの会議は、我々青年部だけではなく青年会議所の皆様、農青連の皆様、JA夢南農青連の皆様、また白河市職員の方、白河商工会議所の職員の方、また、西郷商工会の皆様ですとか、表郷商工会の皆様、大信商工会の皆様、東商工会の皆様と、各地域の青年経済人を集めさせていただいて、いろんな活発な意見を出し合い、地域に賑わいをもたらせるようなことを工夫しながら意見を出させていただきました。今回も参加者が85名というようなことで集まっていたかきまして、これはマイタウンの部屋を幾つかに区切らせていただいて、十分な密を避けるようなことで行うようにいたしました。今回はこれを行う前に、白河市長から議題というか、今の白河市の悩みというようなものを聞きまして、それについて皆様と会議というか進めさせていただいてきました。5つの議題がありましたが、雇用の確保。子育て支援の充実。教育環境の充実。郷土の愛着と誇りの造成。発信力の強化。というような、5つの議題を持ちましてやってまいりました。特にこの中でも、なかなか力を入れてほしいというようなものが、やはり若い女性関係、若い男性もそうですけれども、白河市から出てしまうとなかなか戻ってこないなんていうようなものがありましたので、我々も特に今後は若い女性等にもそういった意見を聞きながら、事業をする上ではそういった大切な新しい意見等を含めながらやっていくというようなことになっております。今後、この会議のほうで出た意見等は10月にまとめさせていただいて、また市のほうと協議をしながら政策提言へ結びつけたいと思っております。続きまして、8月に「白河魂」というようなものを地域活性委員会というようなもので行いました。これは例年、今先程何回か話させていただいております15年くらいになりますかね、続いております夏のイベント行事であります。ただ、今回は花火もわずかな時間というようなこともありましたが、もともとはサプライズということもありましたので、花火との同日開催というようなことは最初から出来ることは思っておりませんでしたので。その場合、どんなことを目的とするかというところでは、このコロナ禍で子供さんたちが外に出て遊ぶ機会が減ってるんじゃないかというようなことを何とかしてあげられないかなというような中で、子供、小学生から中学生を対象となるような縁日関係ですとか、巨大迷路を作らせていただいて、そちらのほうで賑わいをもたらしました。もともと、あそこの会場ですと県の規定で300人までは入っても大丈夫ということもありましたので、最大300人というようなことでカウントしながらやってまいりました。なかなか、初日の最初は凄い混み合うような形になりまして、やはり子供さんたちが今はそういった意味ではストレスではないでしょうけれども溜まってたんですか。そういった外で遊ぶ機会がないのかなというような。そういったものを見つけていただいたのかわかりませんが、非常に多くの方が来ていただいて、いたずら心に水をかけるなんていうような事をやっても非常に喜んでもらえた、子供さん達には喜んでもらえたものになっておりました。また、懐かしいような水風船とか水ヨーヨーとかですとか、そういったものを設けた所にもまた親御さんたちにも懐かしいよねというよう

なことで、本当に非常に多くの子供たちの笑顔を見れたというような事業で終われたことが、私にとっても今年度の中でも一つの事業、素晴らしい事業、感動した事業というように思っております。今回も二日間行わせていただいて、延べ人数的には1500人から1800人くらい来ていただいたのかなというところでもあります。子連れじゃない逆に大人のおじさんというんですかね。年長者の方が2人で来たとか、3人で来たなんていうのもありましたが、やはり帰ってしまったというようなちょっと残念ではありましたが、そういった方向けのものは全く用意はできなかったという点では少し反省点にもなるかと思います。また来年以降、コロナ禍の状況が落ち着きましたら、是非皆様方にも来ていただいて満喫していただけるようなもの提供を志してまいりたいと思っております。続いて、今年度もこちらでもまた新しい事業のほうなんですけれども、資質向上委員会、こちらが2回目の事業を行ったのが8月にやりました。ミブ先生に来ていただいて、皆が皆ではないんでしょうけれども、私なんかもちっと体形的には少し問題があるところもありますので、そういった意味で委員長が選んでくれたのかわかりませんが、今年は健康管理に注意していきましようというような事やっていたておりまして、このミブ先生の筋トレというんですかね。非常にハードでしたけれども、そういった事を毎日行くとそのお腹も引っ込むよというような事は伝えられながらしましたけれども、なかなか毎日スクワットを続けなさいと言われた点が、やはり三日坊主という言葉は本当なのかなというところでも、三日で終わってしまったのは私は非常に残念なところではあります。ただ、こう言った事をやることによって、多少なりとも皆さんそういった食事ですとか健康には留意するようになってきたのかなというところは良いところでもありますので、非常に気を使いながら会の皆さん、体が元気でなければできないでしょうからというような事での、委員長の思いを受けて活動して進んで今もいます。もう一つ、最後に委員会を設けさせてもらいました。こちらが未来交流委員会ということで、未来を担う子供たちに体験、交流を通じて夢を与え、次代の青年経済人を育成する。大きなことを書いてありますけれども、子供たちと触れ合うことを多くして、この子供たちが将来、白河市、この県南地域を盛り上げていっていただけるような、あんな事業をやったら楽しかったねというような思い出を作っていただき、そういったものを継続、次世代へ流せていければと思う事の事業をこの委員会で開催しようと思っておりましたが、残念なことにJ A 夢南青年連盟との共同事業というようなものも、7月行うものが今現在延期となって次が未定となっております。また、茅ヶ崎 Y E G との交流事業が、先程話しましたがあちらの海の事業ということで、我々内陸側からするとそういった所に子供を連れて行くとなかなか喜んでいただけるんですけども、また私も家族を連れて参加はしてはいたんですが、そういった事をやっていると、この活動に対しても奥様からもなかなか見る目が上がるというか、活動しやすくなる点もあるので、こういった事業は大事なところでしたが、今年もできない状況でありました。また、白河青年会議所さんとも今月末に土曜日に行く予定だったものも出店を協力依頼受けてはありましたが、どちらも今回は中止という形になっております。そんな中でも、できる限りやはり中止というような事はしたくない、何か万全な対策とは言いながらも、それ以上

上の形を作ればできるのではないかなというようなことで、今後の活動も9月10月11月12月1月2月3月と、大体各月2回から3回の活動があります。また、先程の健康管理なんかは2か月に1回ございますので、これからまだ4回あることになっております。9月からは、我々でこの事業はレイゴルフ練習場さんにおきまして、毎週火曜日、9月の火曜日の19時から2時間程、ゴルフの本当の初心者を中心として練習を行い、社会人ということはないんですけれども、ゴルフの付き合いって結構多いかと思われるようになってまいりました、私自身も。そういったところでの活躍の場を設けられるように、皆さんとやっていきたいなと思ってます。皆さんの中でもご指導得意な方いらっしゃいましたら、もし時間が空きましたらそちらのほうで教えていただければと思います。我々の中では、なかなかそういった教えられる人物実際いないんですけれども、やる気持ちだけで取りあえずやっていますので、是非ご協力いただければと思います。あと大きな事業のほうでは、来月は先程の子供たちの事業の中で、タクシーを使いながらこの白河市を子供たちに自分たちで散策をしていただくというような事業を考えております。これもまだ完全に煮詰まってはいいところもありますが、サポートをしながらもちろんそのタクシー子供たちだけで乗っていただくようにはなるんですけれども、安全等には注意をしながらやるにはどうやるかというような最後に詰めの状況を今考えております。そこで白河市の再発見というか、子供たちに知らなかった歴史、文化等をよく学んでいただいて、郷土愛を深めてもらえるような事業を考えていきたいと思っております。もう一つですね、ご協力いただければというような点の事業もありまして、今度冬の頃にはまたイベントができるような状況であれば冬のイベント。屋台をやるのか、婚活イベントをやるのかというようなところではありますが、そういった点でも皆様をご一緒に結び付けてやっていければと思います。最後になりますが、本当にいろいろと今日ご説明させていただきましたが、今までこれも全部皆様のご協力あってのことだと思いますし、並々ならぬ努力をしてきた先輩方の努力があってこそだと思います。これからの青年部活動におきまして、来年40周年何か大きな事業をやるような事も考えておりますし、またその次には福島県の会長を出すというようなことも白河市のほうでやっていくこととなります。その際にも、いろいろな点でお世話になるかと思いますが、よろしく願いいたします。最後に、本当に緊張してて今自分でも喋りがまとまってなかったなんて思いますし、せっかくの鰻重なんかも食べさせていただいたんですが、味が全く覚えていません。なもんで、青年部の先輩方、また鰻重ご馳走お願いいたします。話、つたない点、失礼な点、非常に多かったかと思いますが、私の卓話は今日はこれで失礼させていただきます。非常にどうもありがとうございました。

